

川西町福祉に関するアンケート調査 調査結果概要（当事者（障害者））

I 調査概要

1. 調査目的

「川西町第4次障害者計画」及び「第7期障害福祉計画・第3期障害児福祉計画」の策定にあたり、福祉サービスの利用実態や福祉に関する意識、意向などを把握し、計画策定の基礎資料とするため。

2. 調査設計

調査対象	調査期間	調査方法
川西町在住の障害者手帳所持者 (身体障害者手帳・精神障害者 保健福祉手帳・療育手帳) 500人	令和5年8月11日～ 令和5年8月31日	郵送配布 郵送・WEB回収 ※8月23日に督促状発送

3. 回収状況

配布数	有効回収数	有効回収率
496件 (※郵送戻り4件を除外)	紙：198件 WEB：26件	45.2%

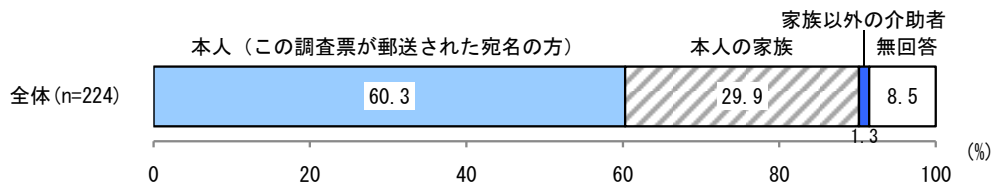
(※本資料は令和5年8月末時点までの回収票を反映)

4. 報告書を見る際の注意事項

- ・回答は各質問の回答者数（n）を基数として百分率（%）で示しています。
- ・百分率は小数点以下第2位を四捨五入して算出しています。このため、百分率の合計が100%にならないことがあります。
- ・1つの質問の2つ以上答えられる複数回答の質問の場合は、回答比率の合計が100%を超える場合があります。
- ・グラフ等の記載にあたっては、調査票の選択肢の文言を一部省略している場合があります。

II 調査結果

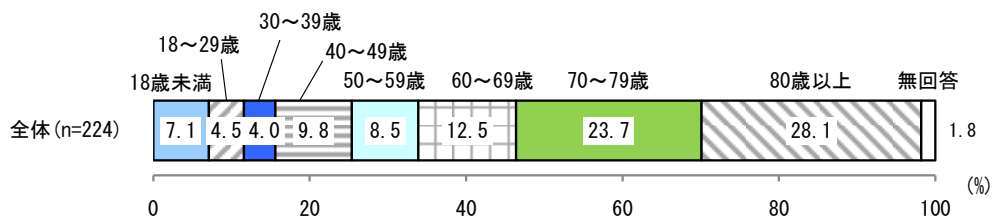
問1 回答者



- ・「本人 (この調査票が郵送された宛名の方)」が 60.3%、「本人の家族」が 29.9%、「家族以外の介助者」が 1.3%となっている。

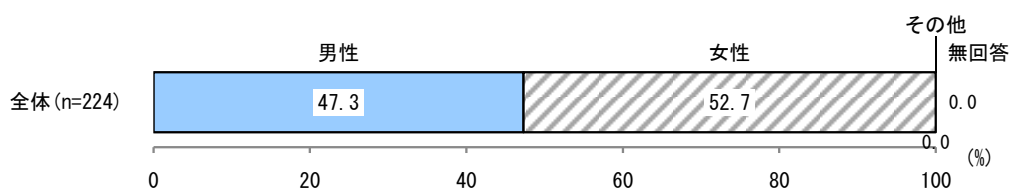
1. 回答者自身のことについて

問2 年齢 (令和5年8月1日現在)



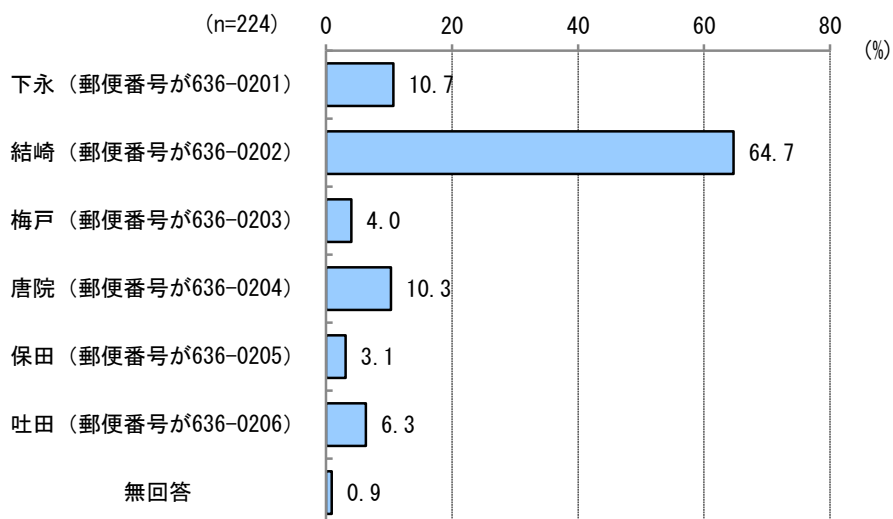
- ・「80歳以上」が 28.1%で最も高く、次いで「70~79歳」が 23.7%、「60~69歳」が 12.5%と続いている。

問3 性別



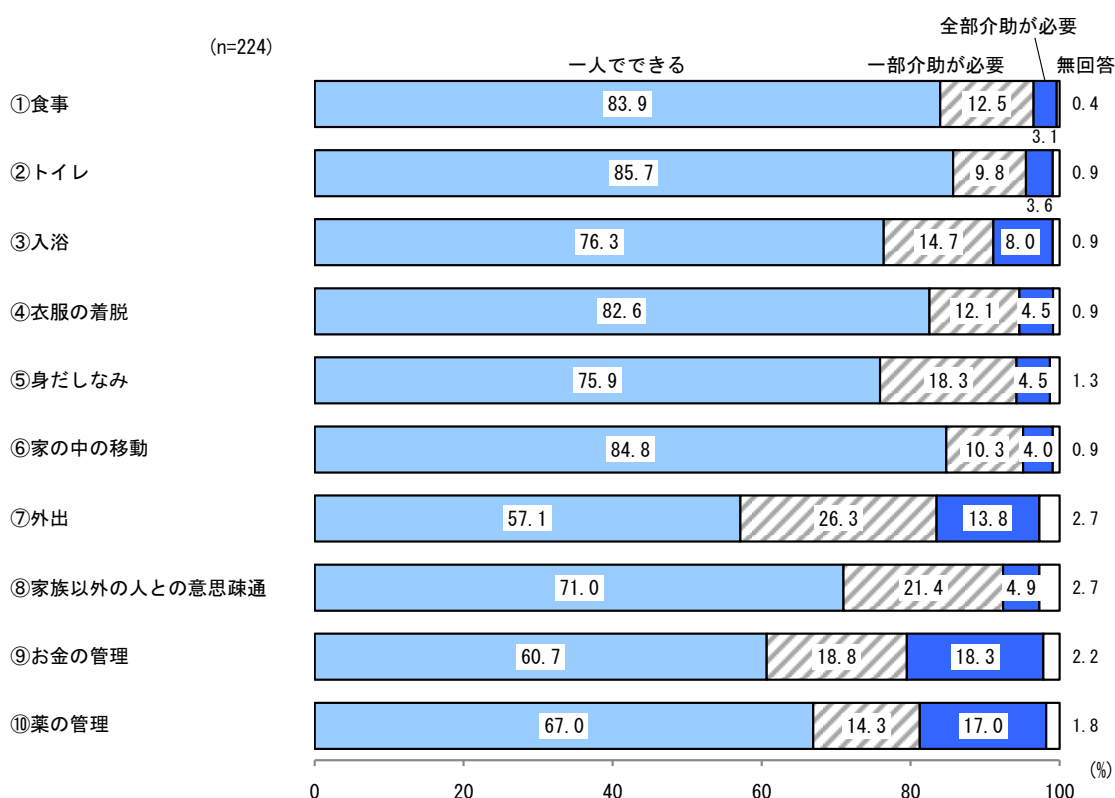
- ・「男性」が 47.3%、「女性」が 52.7%となっている。

問4 居住地域



・「結崎 (郵便番号が 636-0202)」が 64.7%で最も高く、次いで「下永 (郵便番号が 636-0201)」が 10.7%、「唐院 (郵便番号が 636-0204)」が 10.3%と続いている。

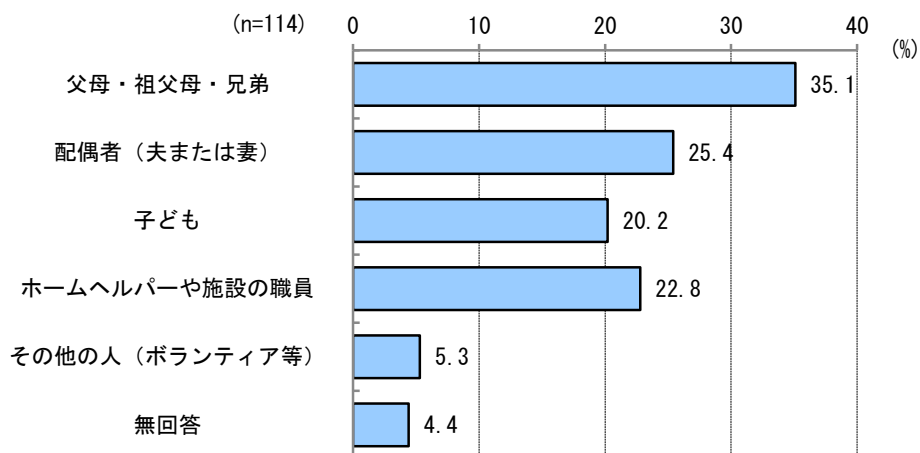
問5 日常生活での介助が必要なこと



- ・すべての項目で「一人でできる」が最も高くなっているものの、⑦外出、⑨お金の管理、⑩薬の管理で7割未満となっている。
- ・⑦外出、⑧家族以外の人との意思疎通については「一部介助が必要」が2割を超えている。
- ・⑨お金の管理、⑩薬の管理では「全部介助が必要」が2割近くを占めている。

問6 主な介助者

(問5で「一部介助が必要」または「全部介助が必要」を1つでも答えた方のみ)

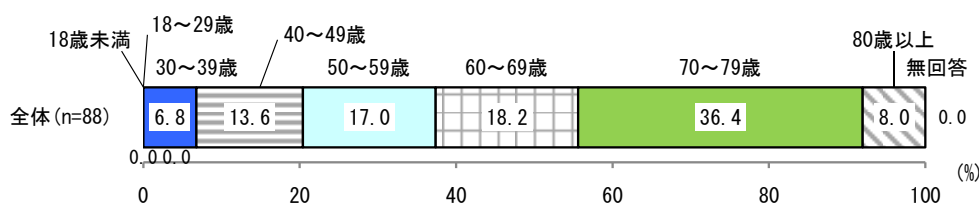


- ・「父母・祖父母・兄弟」が 35.1%で最も高く、次いで「配偶者 (夫または妻)」が 25.4%、「ホームヘルパーや施設の職員」が 22.8%と続いている。

問7 介助者について

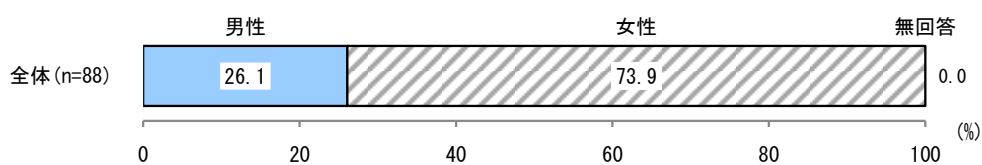
(問6で「父母・祖父母・兄弟」、「配偶者 (夫または妻)」、「子ども」と答えた方のみ)

①介助者の年齢 (令和5年8月1日現在)



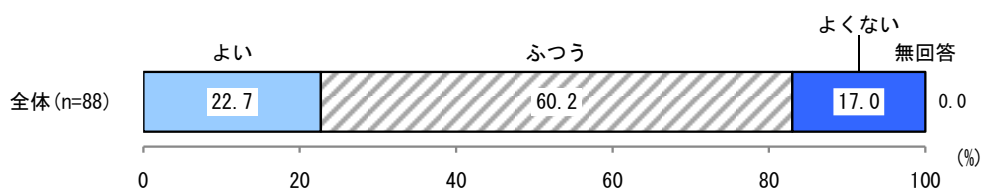
- ・「70~79歳」が 36.4%で最も高く、次いで「60~69歳」が 18.2%、「50~59歳」が 17.0%と続いている。
- ・『70歳以上』の合計は 44.4%と4割を超えている。

②介助者の性別



・「男性」が 26.1%、「女性」が 73.9%となっている。

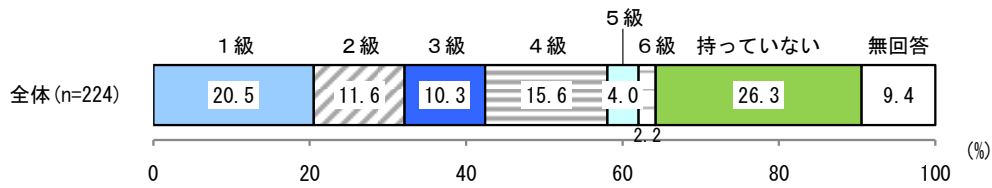
③介助者の健康状態



・「ふつう」が 60.2%で最も高く、次いで「よい」が 22.7%、「よくない」が 17.0%と続いている。

2. あなたの障害の状況について

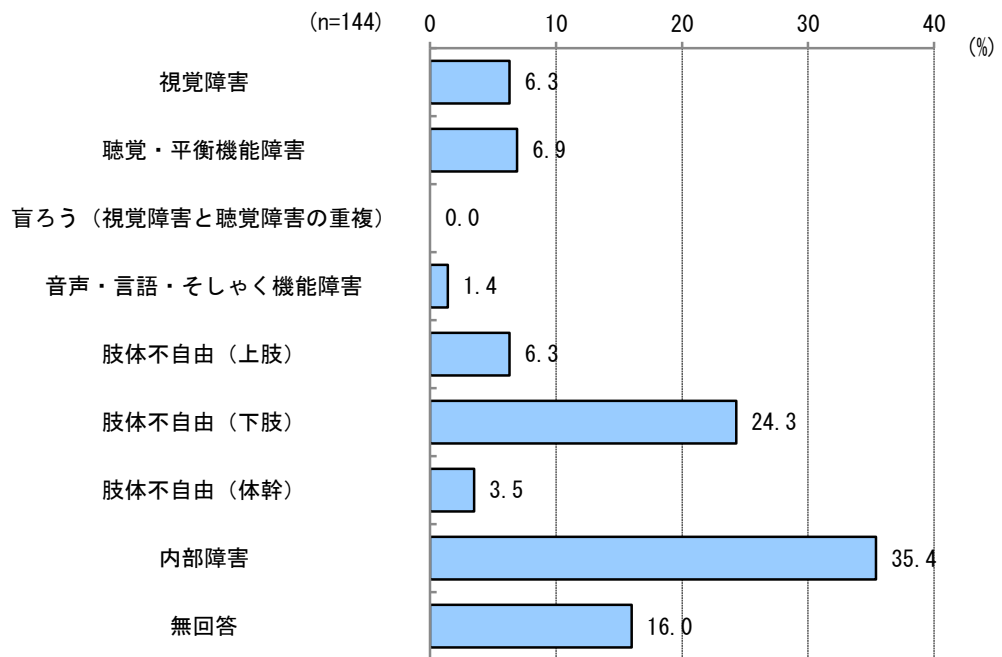
問8 身体障害者手帳の等級



・「持っていない」が26.3%で最も高く、次いで「1級」が20.5%、「4級」が15.6%となっている。

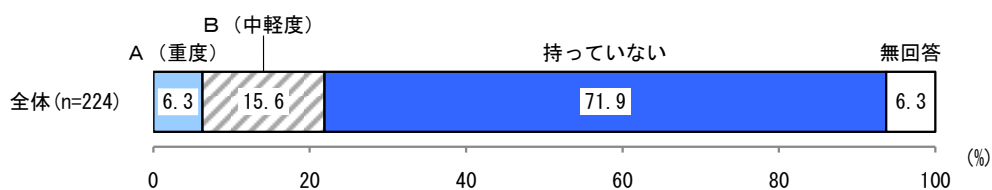
問9 身体障害の主たる障害

(問8で「持っていない」以外を答えた方のみ)



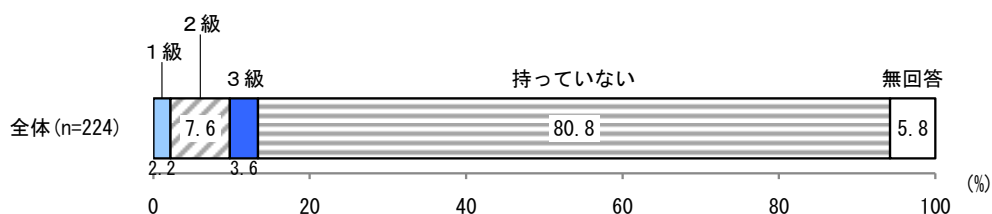
・「内部障害」が35.4%で最も高く、次いで「肢体不自由 (下肢)」が24.3%、「聴覚・平衡機能障害」が6.9%と続いている。

問 10 療育手帳の有無



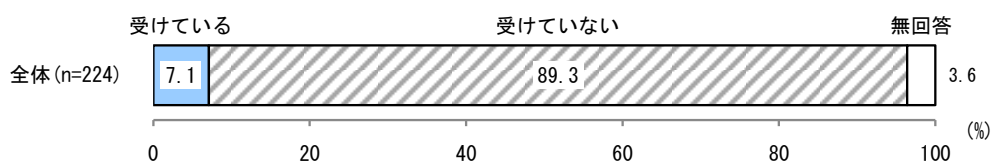
・「持っていない」が71.9%で最も高く、「B (中軽度)」が15.6%、「A (重度)」が6.3%と続いている。

問 11 精神障害者保健福祉手帳の等級



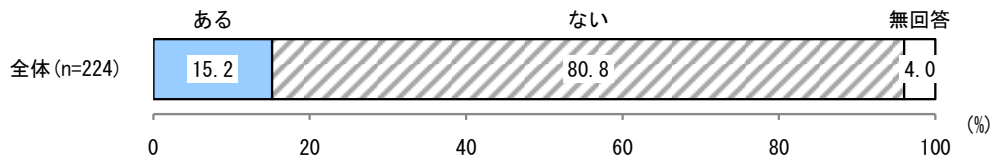
・「持っていない」が80.8%で最も高く、次いで「2級」が7.6%、「3級」が3.6%と続いている。

問 12 難病（特定疾患）の認定の有無



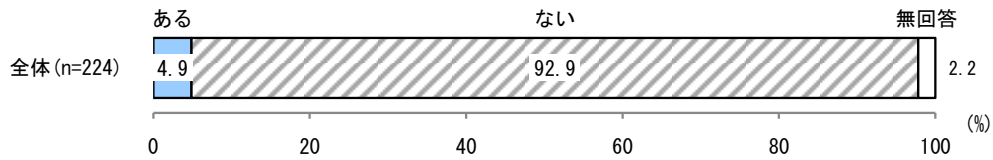
・「受けている」が7.1%、「受けていない」が89.3%となっている。

問 13 発達障害として診断されたことがあるか



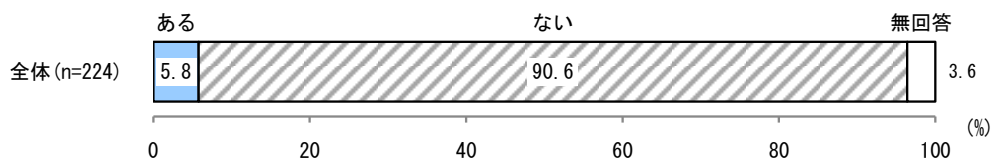
・「ある」が 15.2%、「ない」が 80.8%となっている。

問 14 強度行動障害があると言われたことがあるか



・「ある」が 4.9%、「ない」が 92.9%となっている。

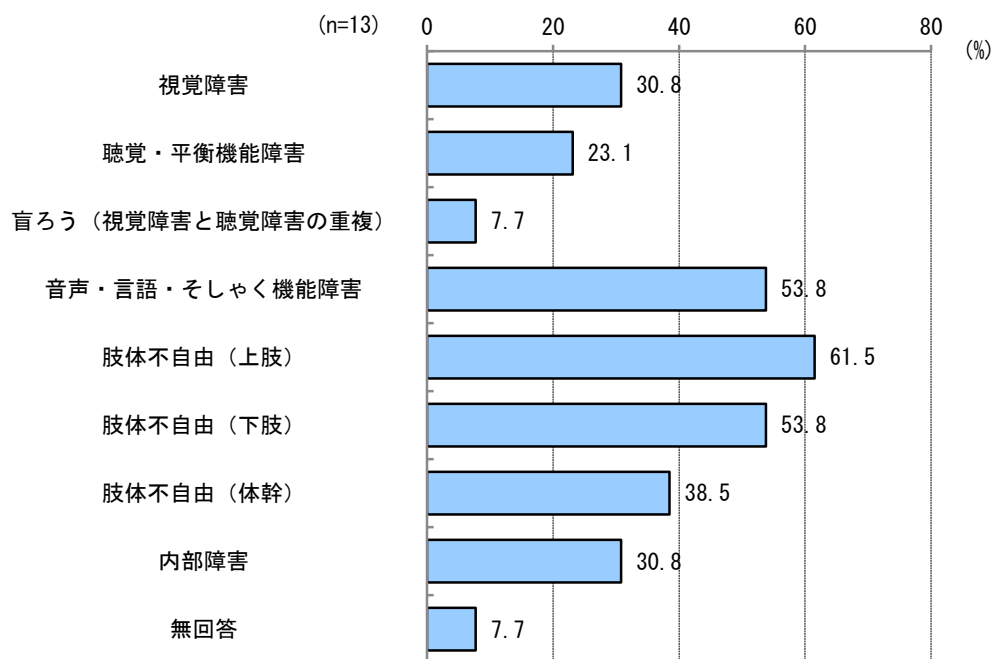
問 15 高次脳機能障害として診断されたことがあるか



・「ある」が 5.8%、「ない」が 90.6%となっている。

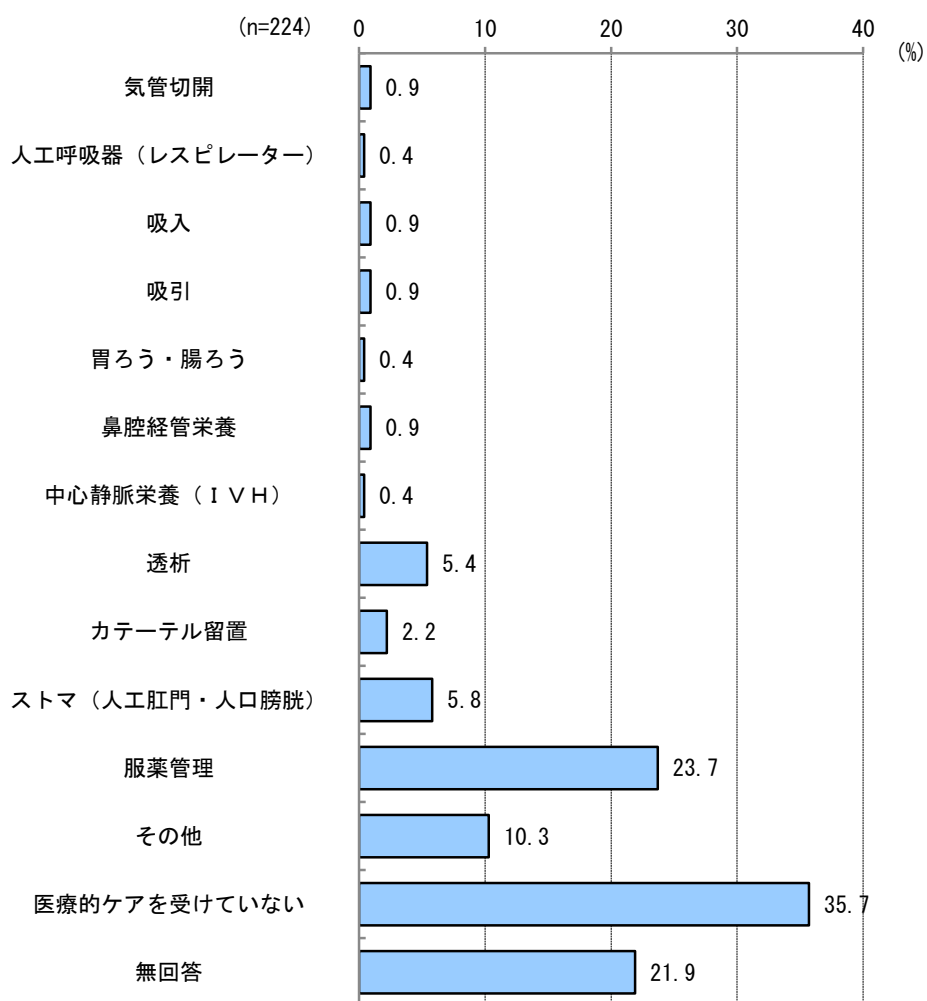
問 16 高次脳機能障害と診断された関連障害

(問 15 で「ある」と答えた方のみ)



・「肢体不自由 (上肢)」が 61.5%で最も高く、次いで「音声・言語・そしゃく機能障害」、「肢体不自由 (下肢)」が 53.8%、「肢体不自由 (体幹)」が 38.5%と続いている。

問 17 現在受けている医療ケア



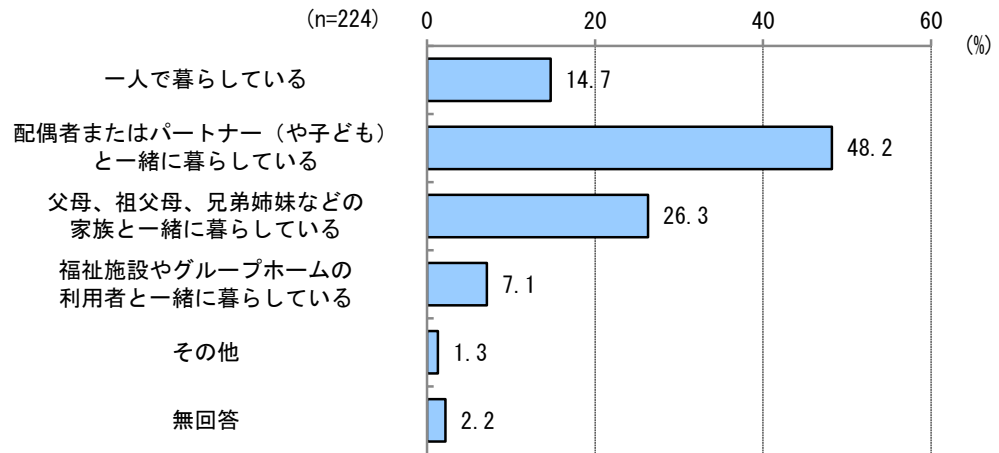
・「医療ケアを受けていない」が 35.7%で最も高く、次いで「服薬管理」が 23.7%、「その他」が 10.3%となっている。

その他：「ペースメーカー」、「人工弁」、「CPAP」等

3. 住まいや暮らしについて

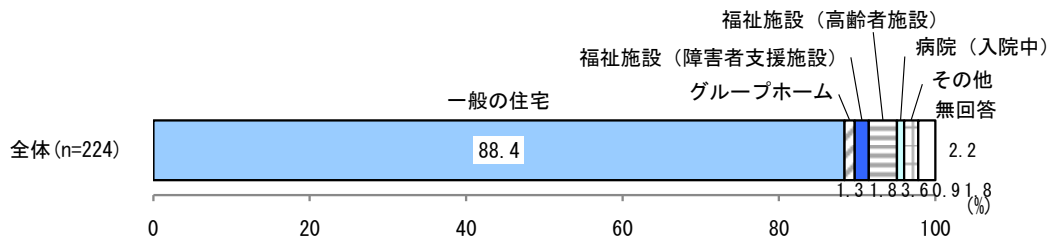
問 18 現在の暮らし

(1) 同居人の有無



- ・「配偶者またはパートナー（や子ども）と一緒に暮らしている」が48.2%で最も高く、次いで「父母、祖父母、兄弟姉妹などの家族と一緒に暮らしている」が26.3%、「一人で暮らしている」が14.7%と続いている。

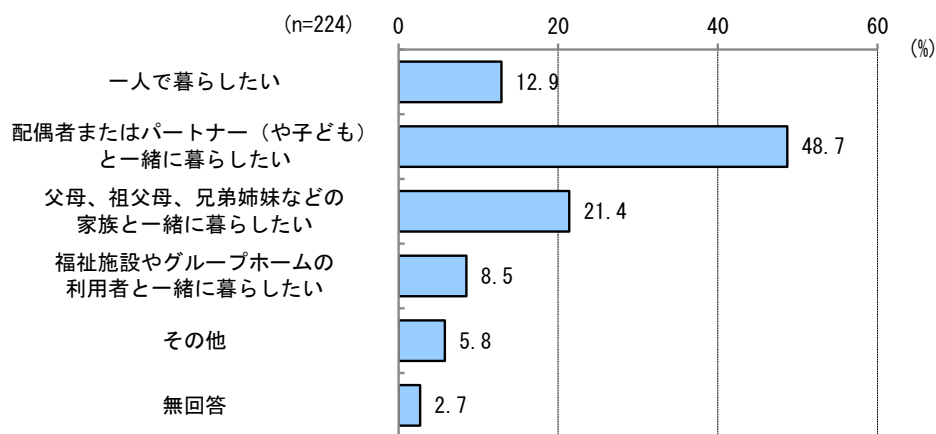
(2) 居住場所



- ・「一般の住宅」が88.4%で最も高く、次いで「福祉施設（高齢者施設）」が3.6%と続いている。

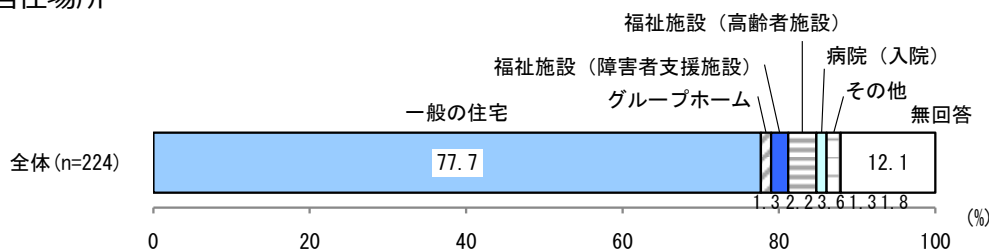
問 19 3年以内に望む暮らし

(1) 同居人の有無



・「配偶者またはパートナー（や子ども）と一緒に暮らしたい」が48.7%で最も高く、次いで「父母、祖父母、兄弟姉妹などの家族と一緒に暮らしたい」が21.4%、「一人で暮らしたい」が12.9%と続いている。

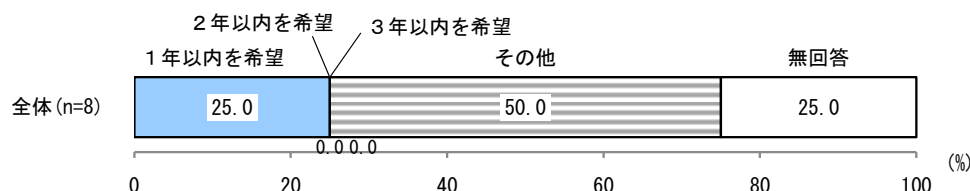
(2) 居住場所



・「一般の住宅」が77.7%で最も高く、次いで「福祉施設（高齢者施設）」が3.6%、「福祉施設（障害者支援施設）」が2.2%と続いている。

(3) 希望入所時期

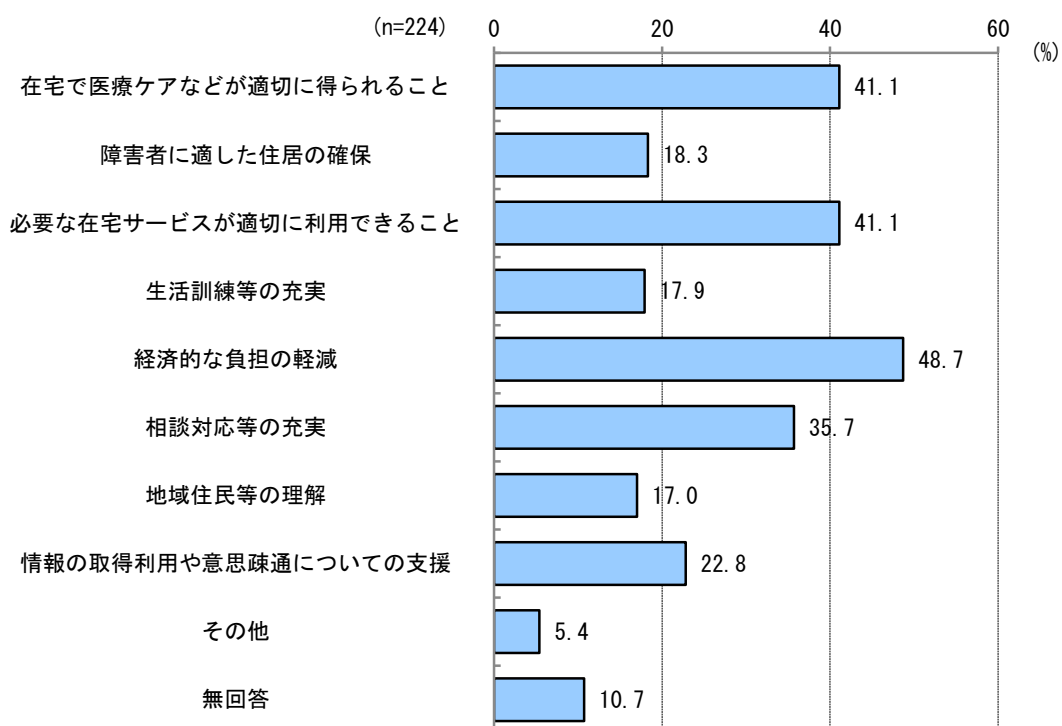
（（2）で「グループホーム」、「福祉施設（障害者支援施設）」と答えた方のみ）



・「1年以内を希望」が25.0%、「その他」が50.0%となっている。

その他：「状態による」、「両親が補助出来なくなった時」、「認知症が治るまで」等

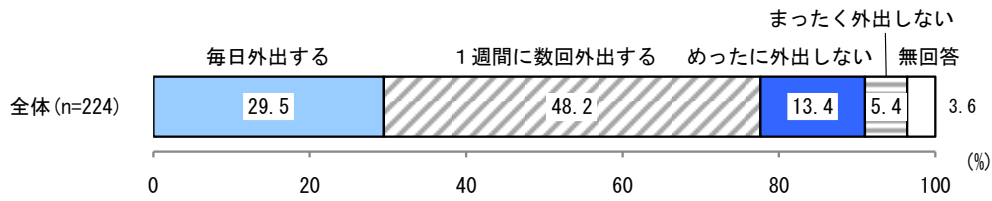
問 20 地域で生活するためがあるとよいと思う支援



- ・「経済的な負担の軽減」が 48.7%で最も高く、次いで「在宅で医療ケアなどが適切に得られること」、「必要な在宅サービスが適切に利用できること」が 41.1%、「相談対応等の充実」が 35.7%と続いている。

4. 日中活動や就労について

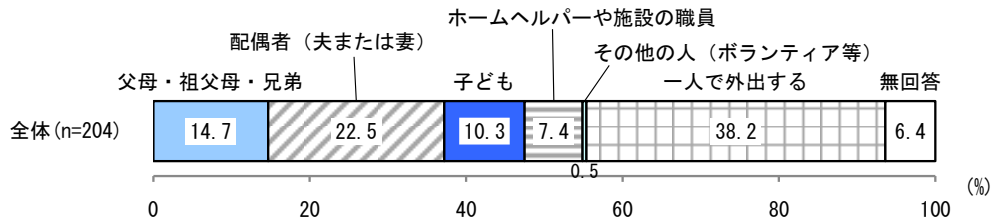
問 21 1週間中の外出頻度



- ・「1週間に数回外出する」が48.2%で最も高く、「毎日外出する」が29.5%、「めったに外出しない」が13.4%と続いている。

問 22 外出時の主な同伴者

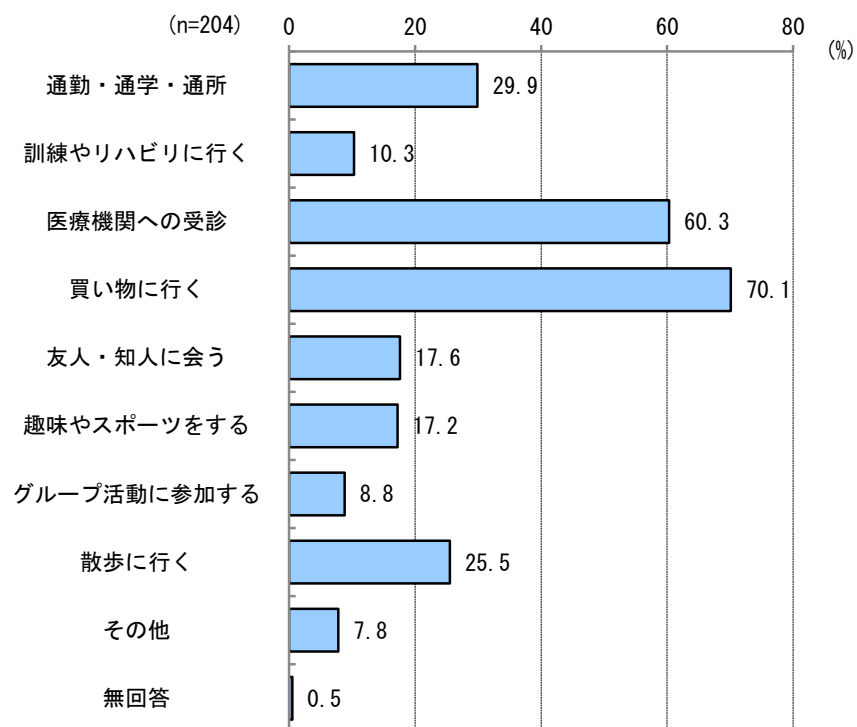
(問 21 で「毎日外出する」、「1週間に数回外出する」、「めったに外出しない」と答えた方のみ)



- ・「一人で外出する」が38.2%で最も高く、次いで「配偶者 (夫または妻)」が22.5%、「父母・祖父母・兄弟」が14.7%と続いている。

問 23 外出目的

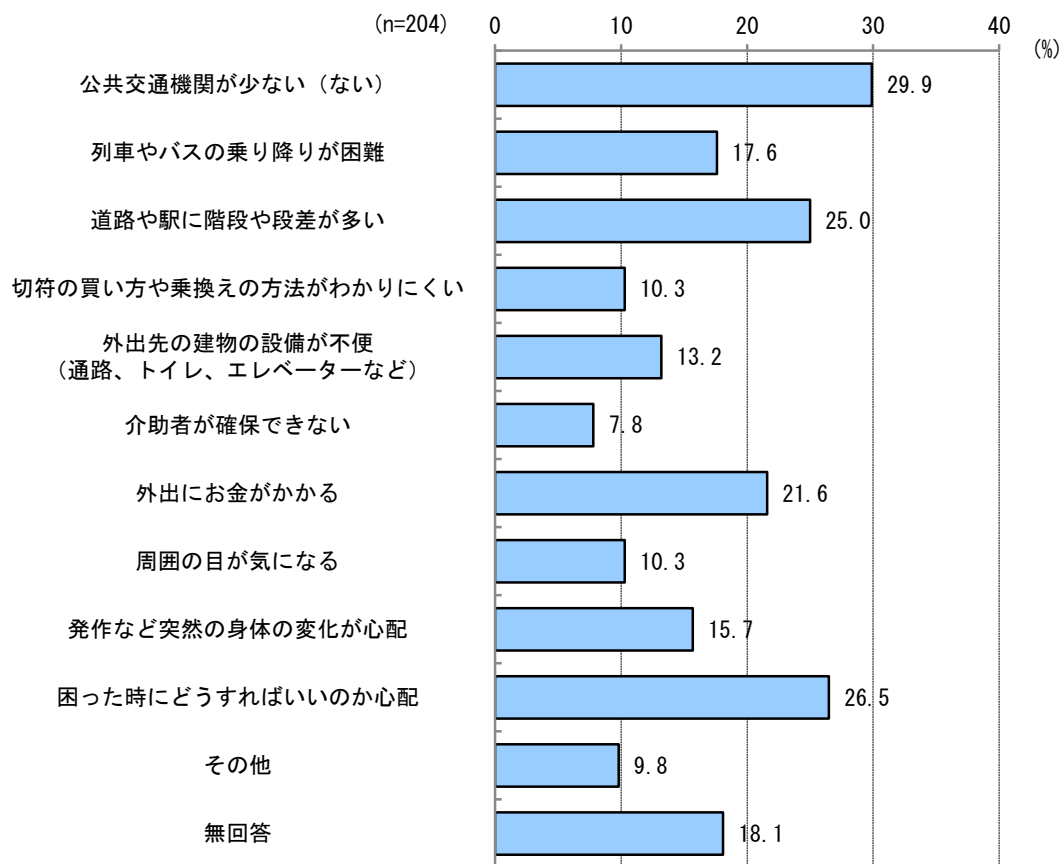
(問 21 で「毎日外出する」、「1 週間に数回外出する」、「めったに外出しない」と答えた方のみ)



・「買い物に行く」が 70.1%で最も高く、次いで「医療機関への受診」が 60.3%、「通勤・通学・通所」が 29.9%と続いている。

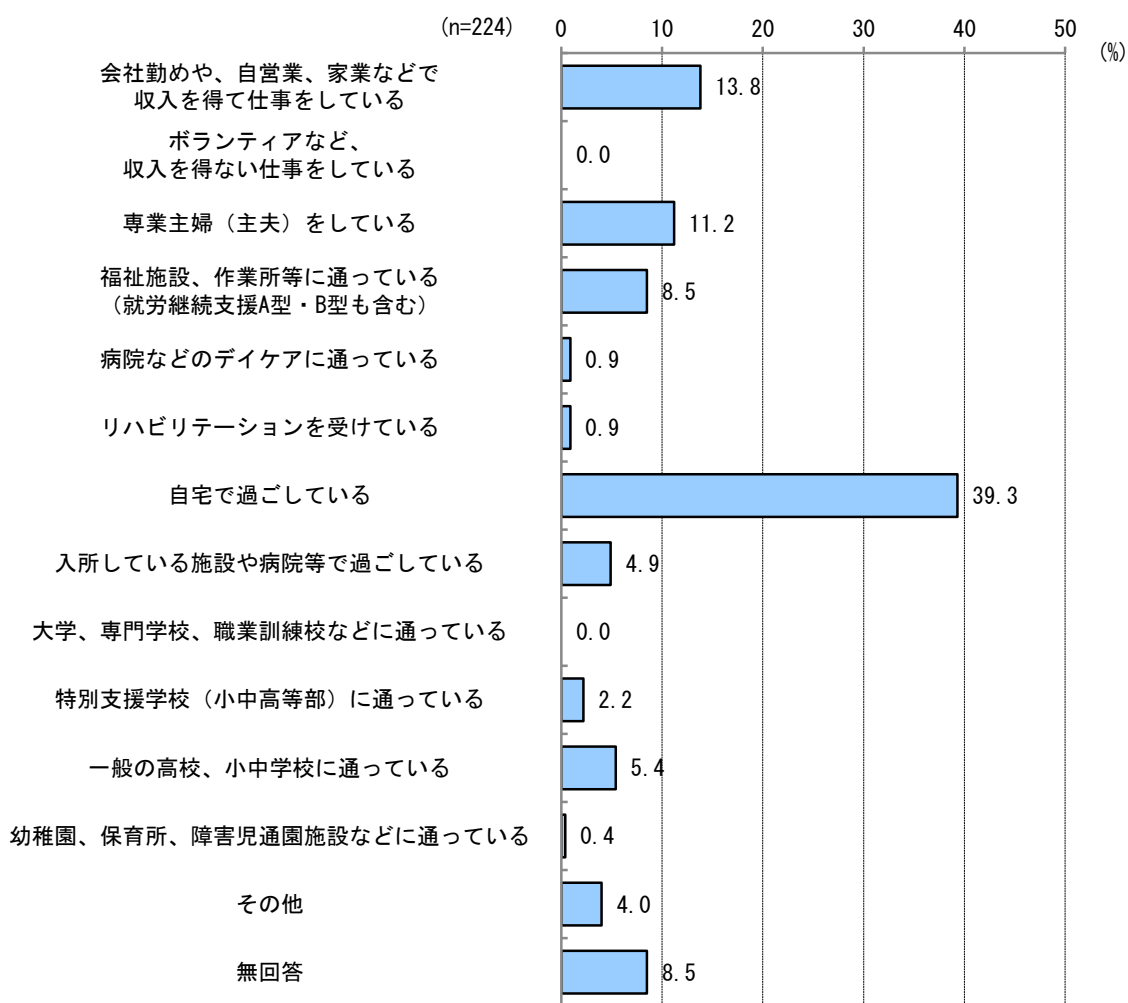
問 24 外出する時に困ること

(問 21 で「毎日外出する」、「1 週間に数回外出する」、「めったに外出しない」と答えた方のみ)



・「公共交通機関が少ない (ない)」が 29.9%で最も高く、次いで「困った時にどうすればいいの心配」が 26.5%、「道路や駅に階段や段差が多い」が 25.0%と続いている。

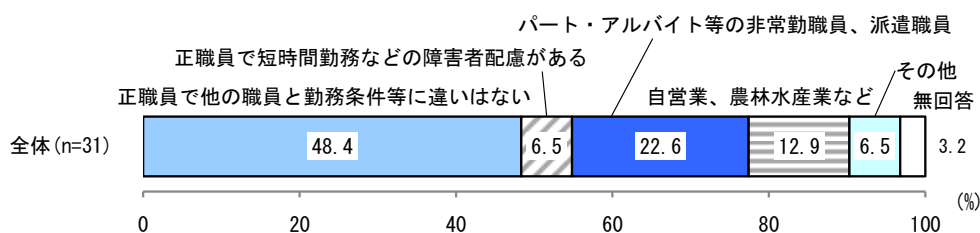
問 25 平日日中の過ごし方



・「自宅で過ごしている」が 39.3%で最も高く、次いで「会社勤めや自営業、家業などで収入を得て仕事をしている」が 13.8%、「専業主婦（主夫）をしている」が 11.2%と続いている。

問 26 勤務形態

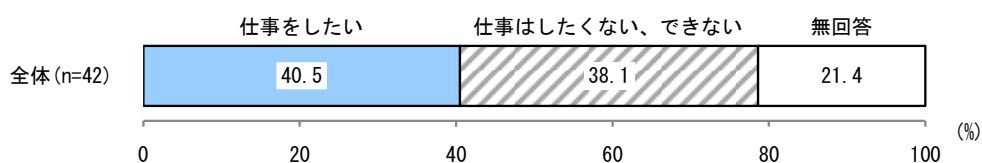
（問 25 で「会社勤めや、自営業、家業などで収入を得て仕事をしている」と答えた方のみ）



・「正職員で他の職員と勤務条件等に違いはない」が 48.4%で最も高く、「パート・アルバイト等の非常勤職員、派遣職員」が 22.6%、「自営業・農林水産業など」が 12.9%となっている。

問 27 収入を得る仕事をしたいか

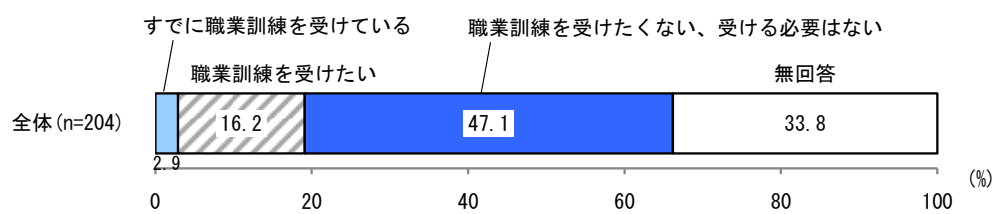
(問 25 で「会社勤めや、自営業、家業などで収入を得て仕事をしている」以外を答えた 18～64 歳の方のみ)



・「仕事をしたい」が 40.5%、「仕事はしたくない、できない」が 38.1%となっている。

問 28 職業訓練の受講意向

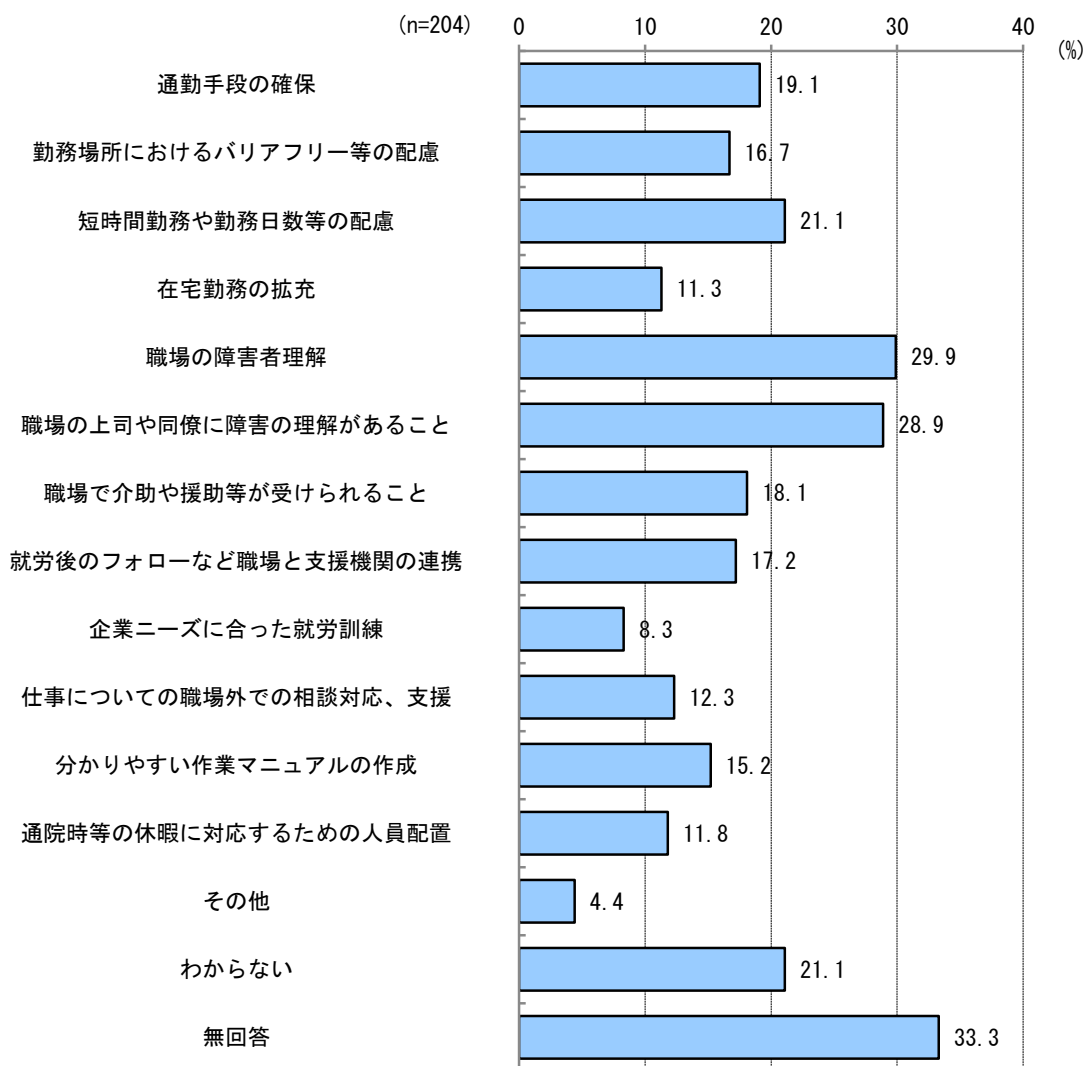
(18 歳以上の方のみ)



・「職業訓練を受けたくない、受ける必要はない」が 47.1%で最も高く、次いで「職業訓練を受けたい」が 16.2%、「すでに職業訓練を受けている」が 2.9%と続いている。

問 29 障害者の就労支援として必要なこと

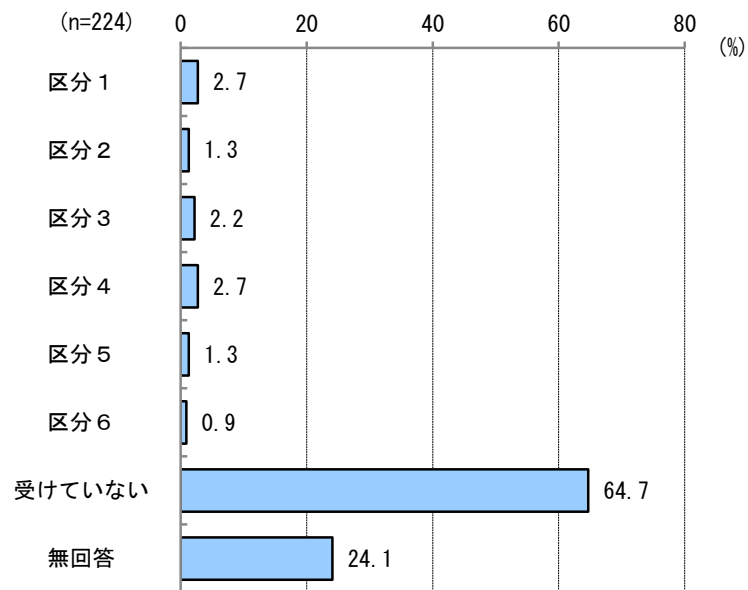
(18歳以上の方のみ)



・「職場の障害者理解」が 29.9%で最も高く、次いで「職場の上司や同僚に障害の理解があること」が 28.9%、「短時間勤務や勤務日数等の配慮」が 21.1%と続いている。

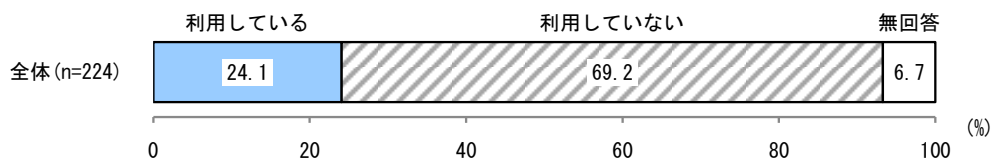
5. 障害福祉サービス等の利用について

問 30 障害者支援区分



- ・「受けていない」が 64.7%で最も高く、次いで「区分1」、「区分4」が 2.7%、「区分3」が 2.2%と続いている。

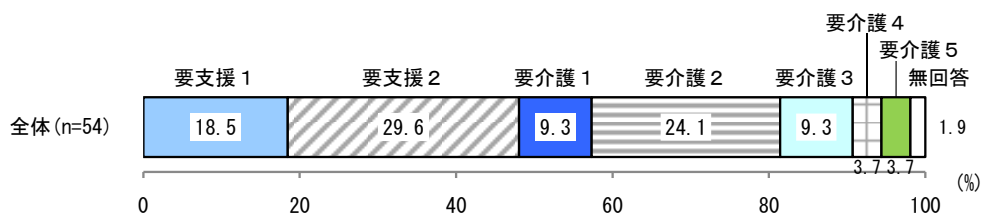
問 31 介護保険によるサービスの利用状況



- ・「利用している」が 24.1%、「利用していない」が 69.2%となっている。

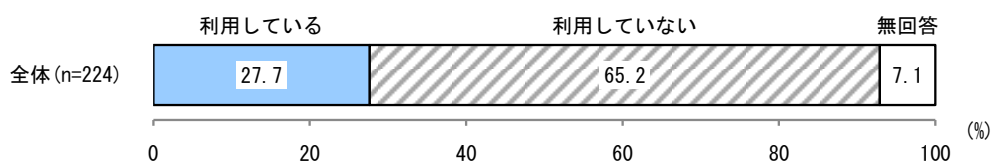
問 32 要介護度

(問 31 で「利用している」と答えた方のみ)



・「要支援 2」が 29.6%で最も高く、次いで「要介護 2」が 24.1%、「要支援 1」が 18.5%と続いている。

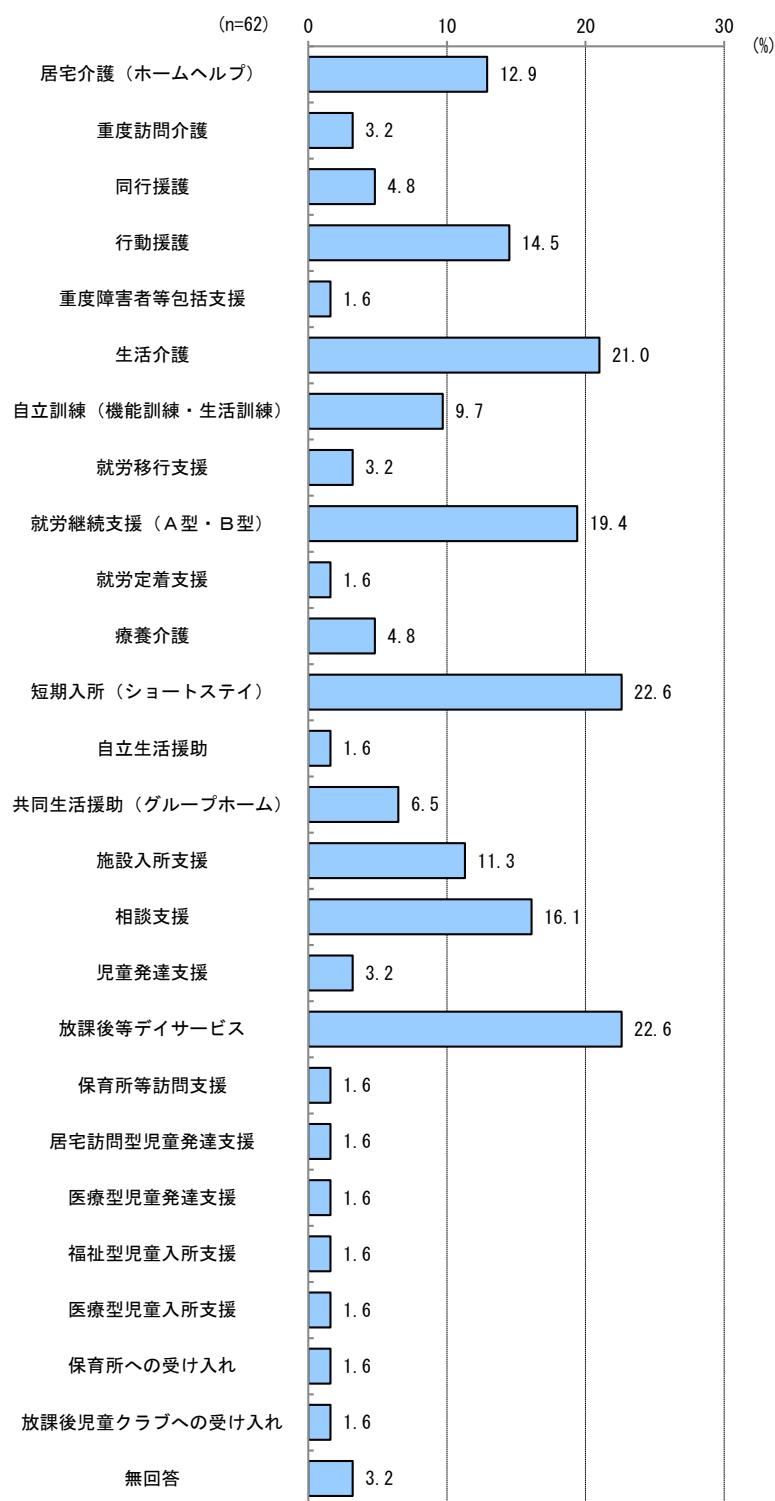
問 33 障害福祉サービスの利用状況



・「利用している」が 27.7%、「利用していない」が 65.2%となっている。

問 34 現在利用している障害福祉サービス

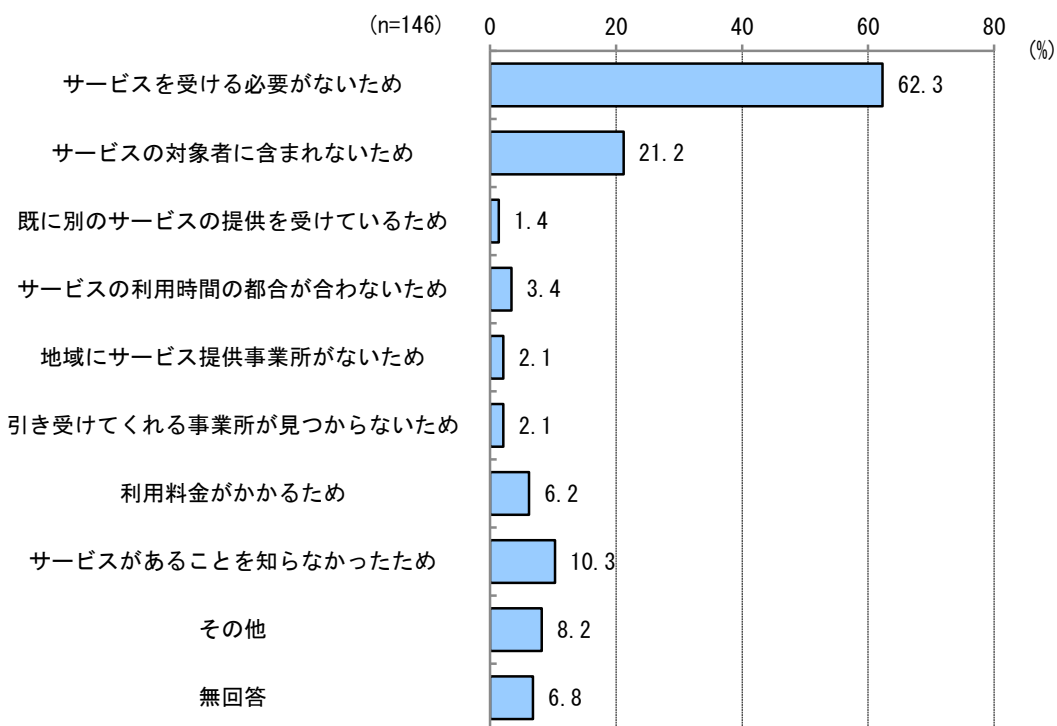
(問 33 で「利用している」と答えた方のみ)



・「短期入所 (ショートステイ)」、「放課後等デイサービス」が 22.6%で最も高く、次いで「生活介護」が 21.0%、「就労継続支援 (A型・B型)」が 19.4%となっている。

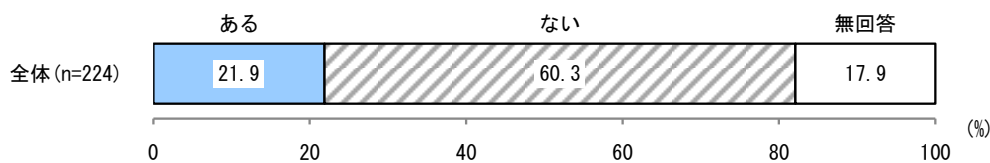
問 35 障害福祉サービスを利用していない理由

(問 33 で「利用していない」と答えた方のみ)



・「サービスを受ける必要がないため」が 62.3%で最も高く、次いで「サービスの対象者に含まれないため」が 21.2%、「サービスがあることを知らなかったため」が 10.3%と続いている。

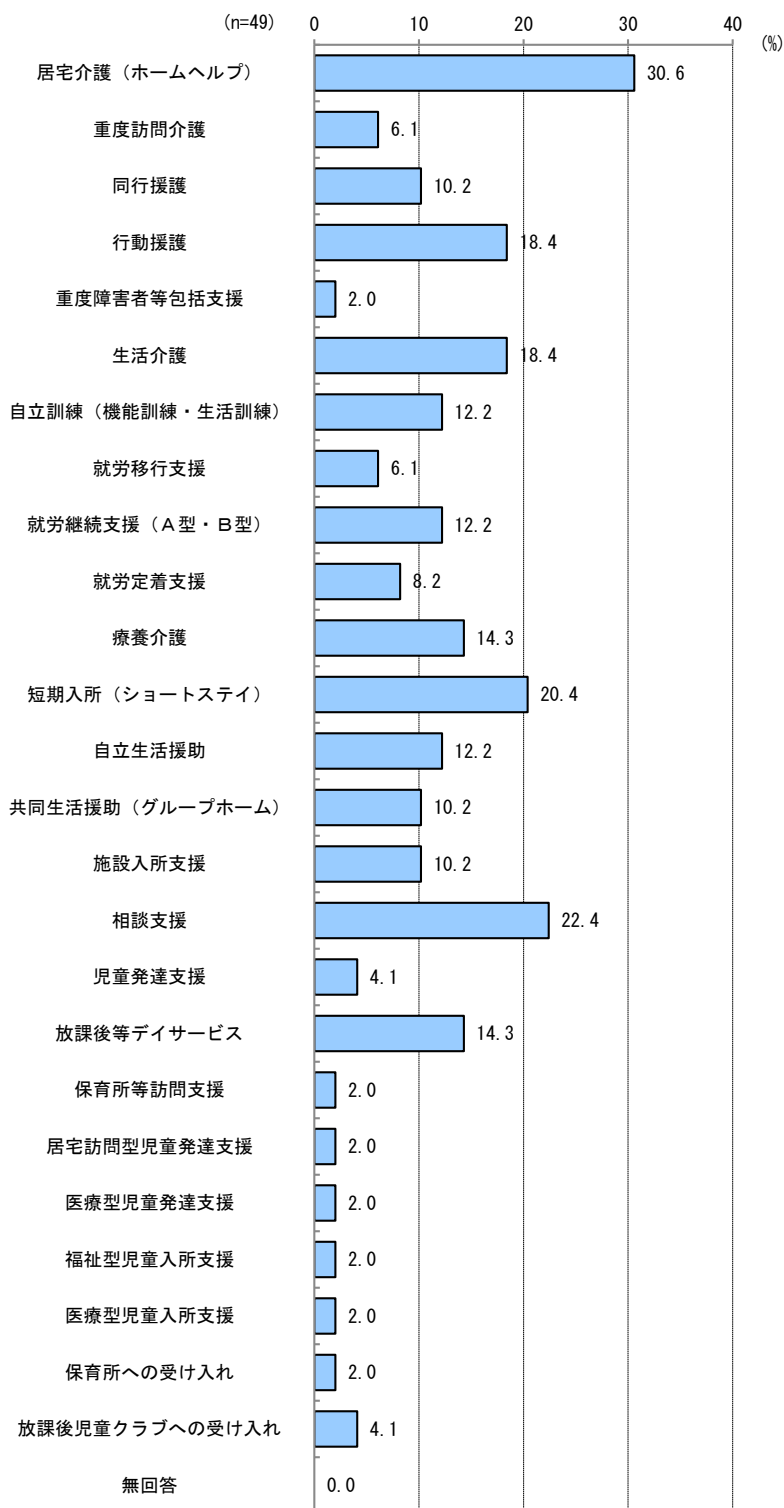
問 36 今後3年間で新たに利用したい障害福祉サービスの有無



・「ある」が 21.9%、「ない」が 60.3%となっている。

問 37 今後利用したい障害福祉サービス

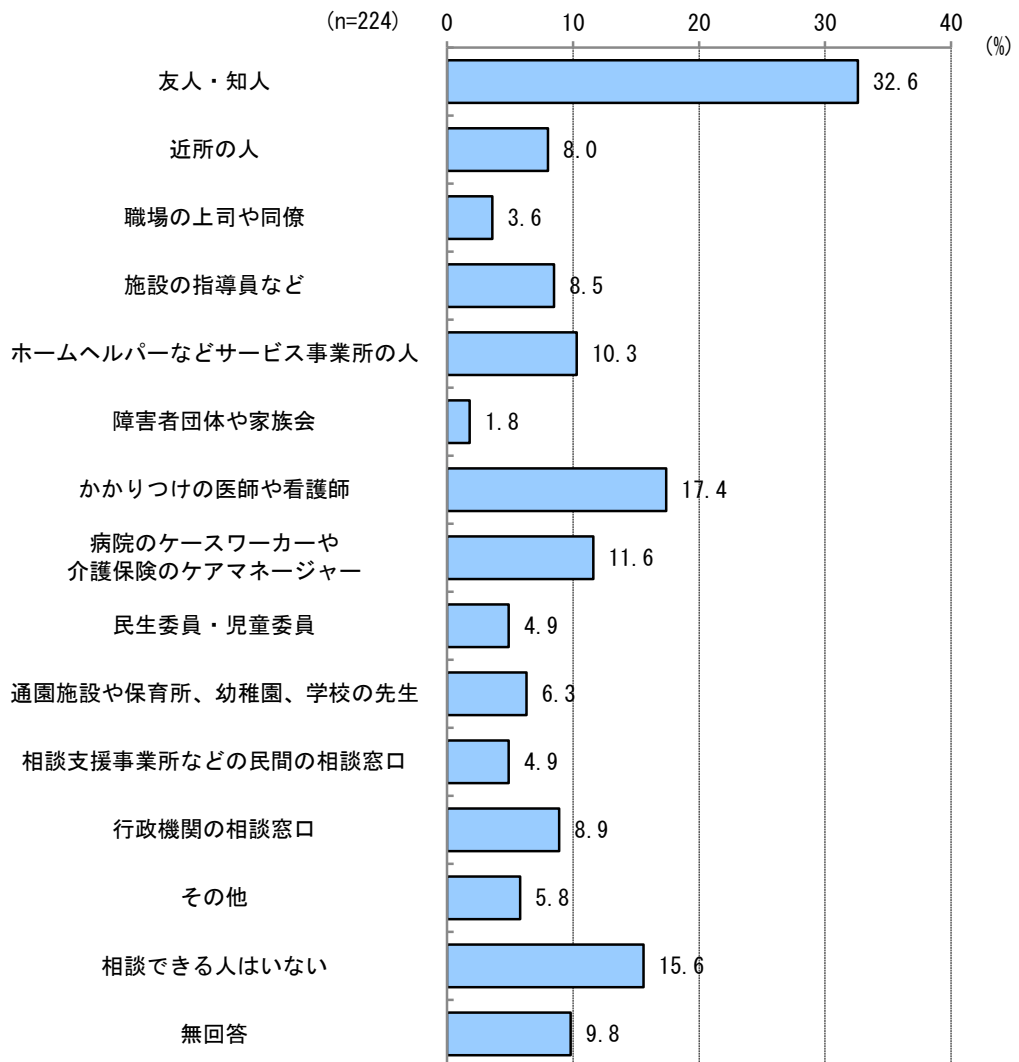
(問 36 で「ある」と回答した方のみ)



・「居宅介護 (ホームヘルプ)」が 30.6%で最も高く、次いで「相談支援」が 22.4%、「短期入所 (ショートステイ)」が 20.4%と続いている。

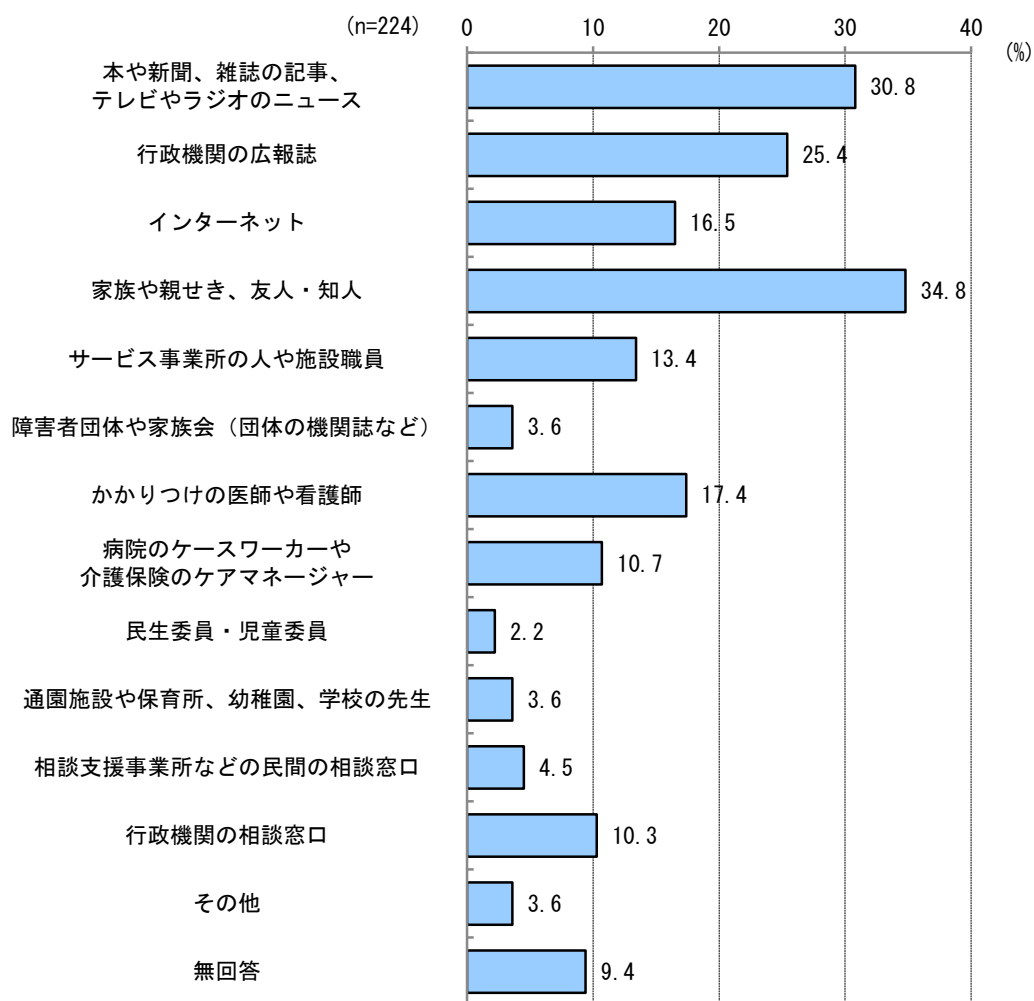
6. 障害福祉サービス等の利用について

問 38 家族以外での悩みや困ったことの相談相手



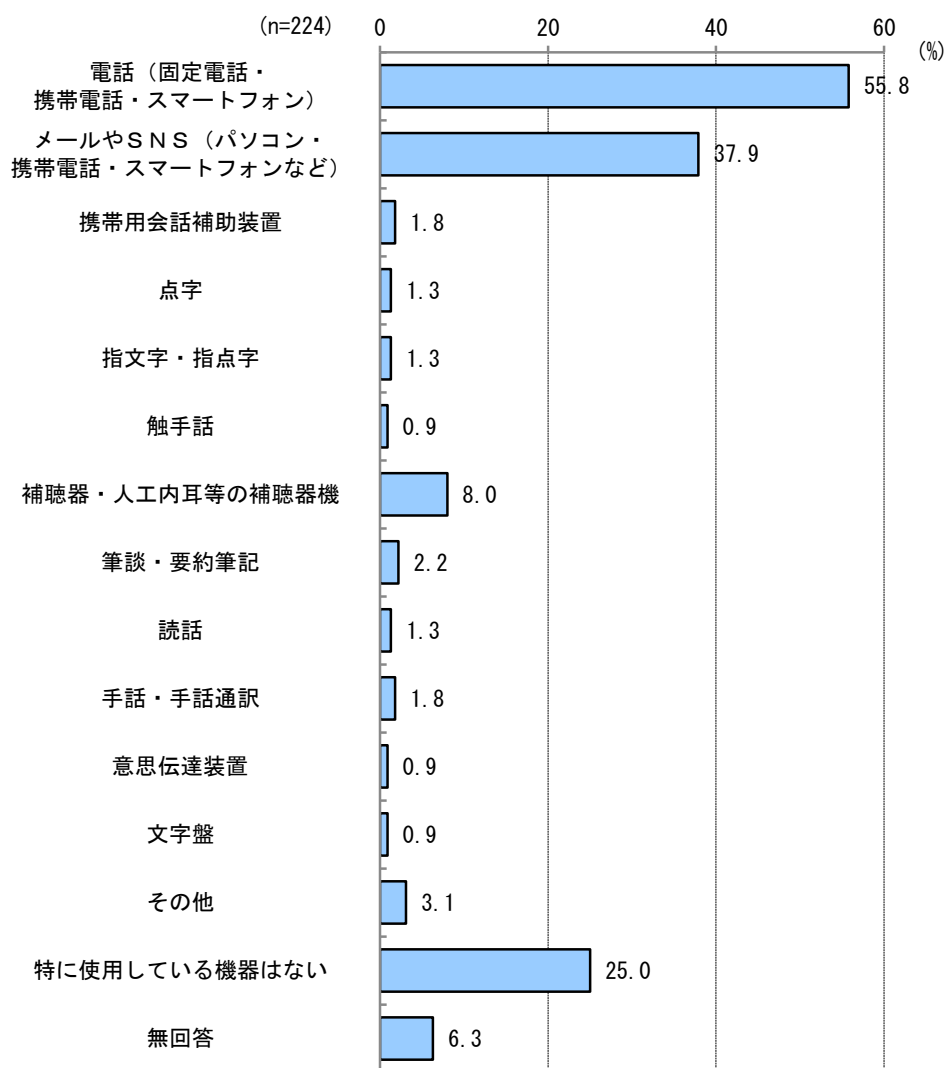
・「友人・知人」が 32.6%で最も高く、次いで「かかりつけの医師や看護師」が 17.4%、「相談できる人はいない」が 15.6%と続いている。

問 39 障害・福祉サービスに関する情報の入手先



・「家族や親せき、友人・知人」が 34.8%で最も高く、次いで「本や新聞、雑誌の記事、テレビやラジオのニュース」が 30.8%、「行政機関の広報誌」が 25.4%と続いている。

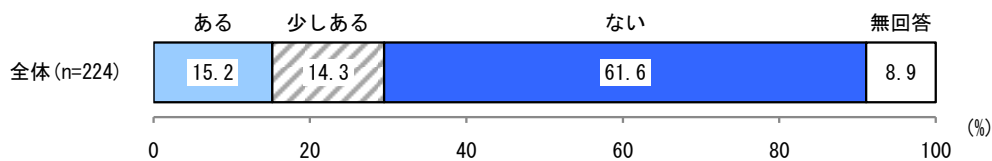
問 40 周囲の人とのコミュニケーションに使用する手段・機器



・「電話（固定電話・携帯電話・スマートフォン）」が 55.8%で最も高く、次いで「メールや SNS（パソコン・携帯電話・スマートフォンなど）」が 37.9%、「特に使用している機器はない」が 25.0%となっている。

7. 権利擁護について

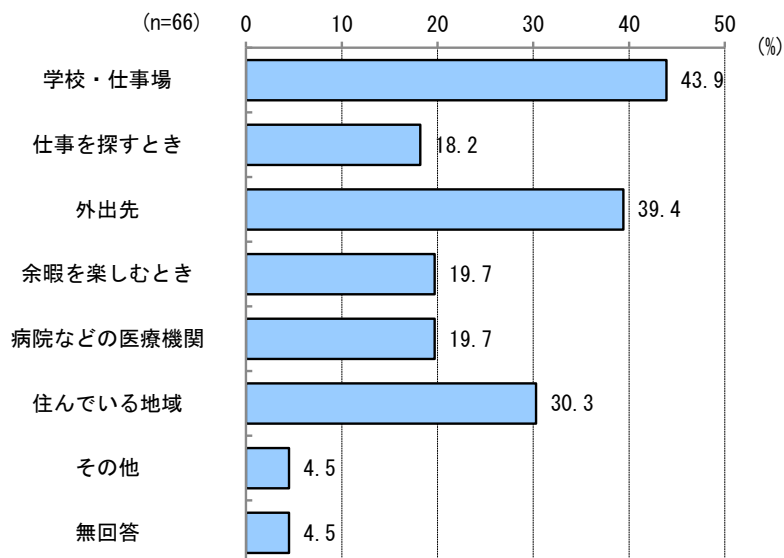
問 41 障害があることで差別や嫌な思いをする（した）経験の有無



- ・「ない」が 61.6%で最も高く、次いで「ある」が 15.2%、「少しある」が 14.3%と続いている。

問 42 差別や嫌な思いをした場所

(問 41 で「ある」、「少しある」と回答した方のみ)



- ・「学校・仕事場」が 43.9%で最も高く、次いで「外出先」が 39.4%、「住んでいる地域」が 30.3%と続いている。

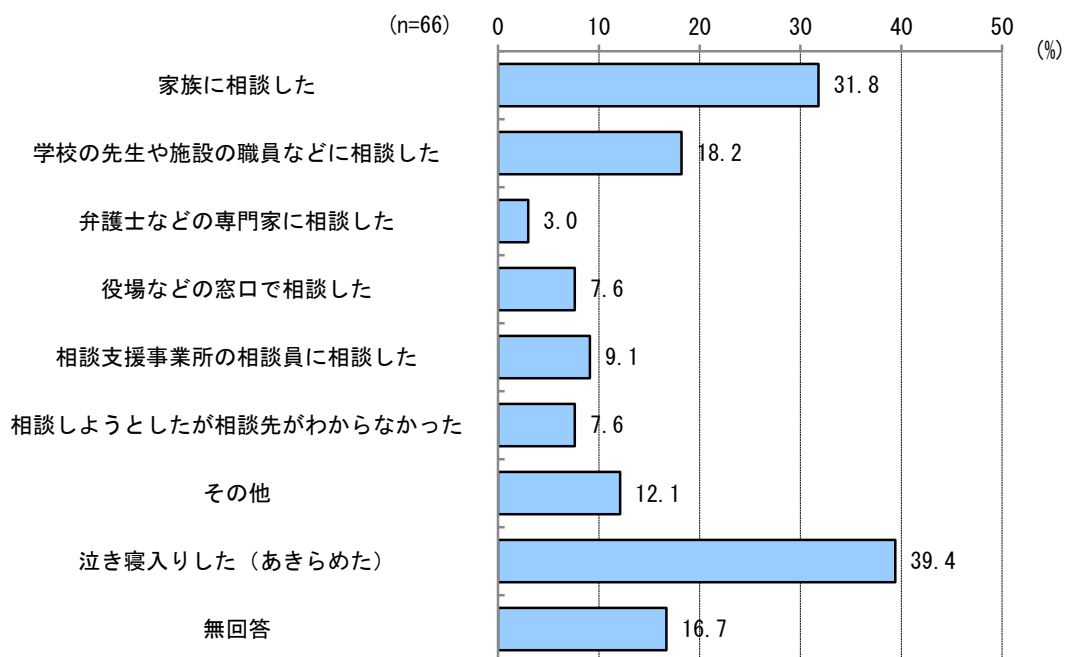
問 43 差別や嫌な思いをした場面

- ・自分が話している口調を真似された。
- ・支援学校に入っていたことを理由に距離をとられた事がある。
- ・買物をしている時、じろじろと見て何かこそ言っている時に嫌な思いをした。
- ・タクシーの乗車拒否、電車で優先席を譲ってもらえない、町内外のバスで乗り降りの手伝い無視。
- ・学校で 1 人で階段の昇り降りをすることが出来ないが、先生も忙しく、ずっと待つ事があった。

等

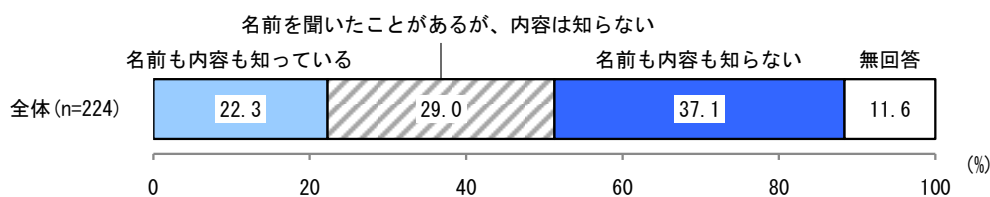
問 44 差別や嫌な思いをしたときにとった行動

(問 41 で「ある」、「少しある」と回答した方のみ)



・「泣き寝入りした (あきらめた)」が 39.4%で最も高く、次いで「家族に相談した」が 31.8%、「学校の先生や施設の職員などに相談した」が 18.2%と続いている。

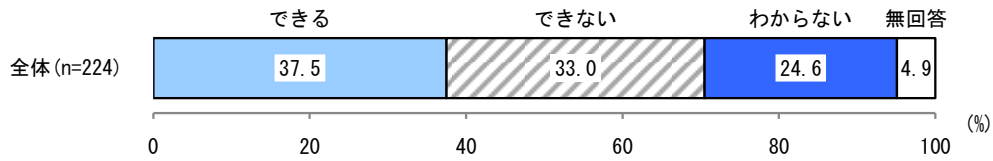
問 45 成年後見制度の認知度



・「名前も内容も知らない」が 37.1%で最も高く、次いで「名前を聞いたことがあるが、内容は知らない」が 29.0%、「名前も内容も知っている」が 22.3%となっている。
 ・『内容を知らない』(「名前を聞いたことがあるが、内容は知らない」+「名前も内容も知らない」)は 66.1%となっている。

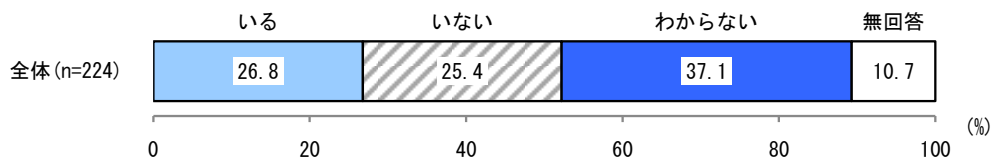
8. 災害時の避難等について

問 46 災害時に一人で避難できるか



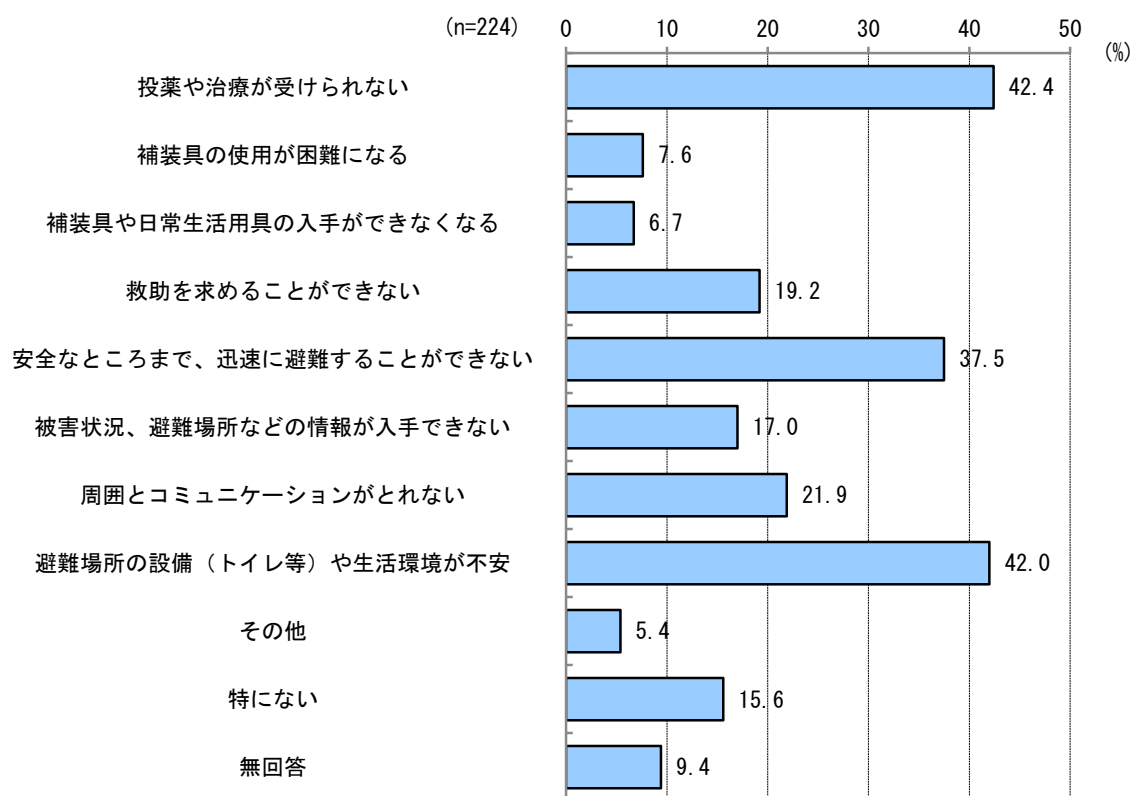
- ・「できる」が 37.5%で最も高く、次いで「できない」が 33.0%、「わからない」が 24.6%と続いている。

問 47 家族以外で近所に助けてくれる人の有無



- ・「わからない」が 37.1%で最も高く、次いで「いる」が 26.8%、「いない」が 25.4%と続いている。

問 48 災害時に困ること



- ・「投薬や治療が受けられない」が42.4%で最も高く、次いで「避難場所の設備（トイレ等）や生活環境が不安」が42.0%、「安全なところまで、迅速に避難することができない」が37.5%と続いている。